

Towards the future, towards the world: A feast of chamber music from East and West

「然 -ZEN-for Shakuhachi and String Quartet」(2018)

向井航 作曲

尺八＝長谷川将山

Vn1＝西野ゆか** Vn2＝栗津惇**

Vla＝吉田有紀子** Vc＝大友肇**

「須磨の嵐」

山登万和 作曲

箏＝上原真佐輝 三絃＝小室旺士

尺八＝黒田鈴尊*

「茶音頭」

菊岡検校 作曲

三絃本手＝平田紀子* 三絃替手＝寺井結子*

「新潮」(1949)

島崎藤村 作詩 中能島欣一 作曲

第一箏＝上原真佐輝 第二箏＝小室旺士

十七絃＝日吉章吾*

「トルスIV」(1972)

三善晃 作曲

指揮＝板倉康明

箏1＝寺井結子* 箏2＝日吉章吾*

十七絃＝平田紀子* 尺八＝黒田鈴尊*

Vn1＝西野ゆか** Vn2＝栗津惇**

Vla＝吉田有紀子** Vc＝大友肇**

「松竹梅」

三つ橋勾当 作曲

高箏＝上原真佐輝 小室旺士 低箏＝平田紀子*

三絃＝寺井結子* 日吉章吾*

尺八＝黒田鈴尊* 長谷川将山

* 邦楽四重奏団

** クアルテット・エクセルシオ

日本音楽の魅力発信プロジェクト 和の文化活動を通じた若手育成 未来へ、世界へ ―東西室内楽の饗宴―

育成対象者

上原真佐輝、黒田鈴尊、小室旺士、寺井結子

長谷川将山、日吉章吾、平田紀子

ゲスト

クアルテット・エクセルシオ／板倉康明(指揮)

2025年(令和7年)12月26日[金]

18時半開演[18時開場]

東京文化会館 小ホール

一般 4,000円 学生 2,000円

チケット発売 10月1日[水]

全席自由

● 東京文化会館チケットサービス

03-5685-0650 t-bunka.jp

● イープラス

http://eplus.jp



※学生券をご購入の方は、公演当日に年齢が確認できるものをお持ちください。確認する場合がございます。

※やむを得ない事情により、内容が変更になる場合がございますので予めご了承ください。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

主催：特定非営利活動法人 日本音楽国際交流会

助成：



文化芸術活動基盤強化基金

(クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業)

お問い合わせ

特定非営利活動法人日本音楽国際交流会
http://www.jtmusic.org
info.nokkproject2024@gmail.com

後援：邦楽ジャーナル／公益財団法人日本伝統文化振興財団

JAPAN TRADITIONAL CULTURES FOUNDATION

宣伝美術：高木真希

future, towards the world: A feast
of chamber
music from East and West

未来へ、世界へ
—東西室内楽の饗宴—



うえはらまさてる
上原真佐輝 UEHARA Masateru (箏)

1976年鎌倉生まれ。6歳より人間国宝二代上原真佐喜に師事。東京藝術大学邦楽科卒業。NHK邦楽技能者育成会第四十五期終了。文化庁芸術インターンシップ国内研修員。(公社)日本三曲協会理事。山田流箏曲協会理事。真磨琴会代表 箏曲組歌会・箏曲新潮会・古曲会・現代邦楽作曲家連盟会員。



くろだれいそん
黒田鈴尊 KURODA Reison (尺八)

人間国宝・二代青木鈴慕、三代青木鈴慕に師事。文化庁文化交流使。国際尺八コンクール 2018 in ロンドン優勝。毎年世界各国で独演会が開催される他、尺八協奏曲の初演も数多く、オーケストラとの共演や新作初演を通じて尺八の無限の可能性を追求。録音参加した「将軍 SHOGUN」OSTがグラミー賞ノミネート。



こむろおし
小室旺士 KOMURO Ohshi (箏、三絃)

山田流箏曲を祖母谷珠美に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業、同大学院修士課程修了。在学中、安宅賞、アカンサス音楽賞、宮田亮平奨学金、中能島賞を受賞。卒業時に桃華楽堂にて演奏。令和3年度青山音楽財団奨学生。谷珠美邦楽研究グループ、(公社)日本三曲協会、山田流箏曲協会、箏曲新潮会他所属。朝日カルチャーセンター講師。



てらいゆいこ
寺井結子 TERAÏ Yuiko (箏、三絃)

東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。NHK邦楽技能者育成会第55期修了。生田流箏曲宮城社大師範。作曲家立会いのもと制作したCD「寺井結子ブレイズー柳慧邦楽作品集」(カメラータ・トウキョウ CMCD-28382)は『レコード芸術』2022年1月号にて「特選盤」、『音楽現代』2022年2月号にて「推薦盤」を獲得。

GUEST

クアルテット・エクセルシオ Quartet Excelsior

西野ゆか・粟津淳(ヴァイオリン) 吉田有紀子(ヴィオラ) 大友肇(チェロ)



1994年桐朋学園大学在学中に結成。『繊細 優美な金銀細工のよう』(独フランクフルター・アルゲマイネ紙)と2016年ドイツデビューで称賛された日本では数少ない常設の弦楽四重奏団。日本人団体として本邦初のベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲録音を完結させ、2024年に結成30周年記念アルバム『モーツァルト：ハイドン・セット全6曲』をリリースした。その他、弦楽四重奏の主要レパートリーの録音を続けている。『定期公演』『現代曲』『アウトリーチ』

を中心に様々なシリーズを展開し、室内楽の聴衆の輪を広げる活動を全国各地で行う一方、海外公演も重ねている。第2回大阪国際室内楽コンクール弦楽四重奏部門第2位、第5回パオロ・ボルチアーニ国際弦楽四重奏コンクール最高位等受賞歴多数。J:COM 浦安音楽ホールレジデンシャル・アーティスト、秋川キララホール音楽大使。2025年4月より桐朋学園大学大学院室内楽コース非常勤講師に団体として就任。

「日本音楽の魅力発信プロジェクト」の育成対象者として、国内外での飛躍が期待される気鋭の演奏家たちと、第一線で活躍を続けるクアルテット・エクセルシオが共演し、和と洋の響きが交わる特別な舞台をお届けします。室内楽として楽しまれた箏・三絃・尺八の合奏と弦楽四重奏が織りなす音色が、ときに繊細に、ときに力強く、多彩な作品を輝かせます。ともに400年近い歴史を持つ日本と西洋の室内楽の魅力をお楽しみください。

芥川也寸志サントリー作曲賞受賞などで注目を集める作曲家・向井航による《然-ZEN-》、1973年の初演以来演奏機会が途絶えていた三善晃の《トルスIV》といった現代作品に加え、19世紀前半から20世紀半ばに作られた地歌と山田流箏曲の名作を披露します。東西の響きが共鳴するかけがえのない瞬間を、未来へ、そして世界へと続く音楽の扉として、ぜひご体感ください。



はせがわしょうざん
長谷川将山 HASEGAWA Shozan (尺八)

神奈川県大和市出身。1994年12月16日生まれ。藤原道山に師事。都山流尺八会所属・師範。東京藝術大学卒業、同大学院修了。令和6年度(第75回)芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。研究活動により裏付けられた細緻な作品解釈と学究的なアプローチで、尺八音楽の新たな可能性を拓いている。株式会社DO所属。



ひよししょうご
日吉章吾 HIYOSHI Shogo (箏、三絃、十七絃)

東京藝術大学音楽学部邦楽科箏曲(生田流)専攻卒業。同大学院修了。胡弓を高橋翠秋師に師事。2016年度文化庁芸術祭新人賞を受賞。平家語り研究会会員。箏曲正絃社師範。東京藝術大学非常勤講師。



ひらたのりこ
平田紀子 HIRATA Noriko (箏、三絃、十七絃)

幼少より箏・地歌三絃の古典を永田文子・故深海さとみに師事し、様々なコンクールで一位を受賞する。東京藝術大学卒業。在学中に宮城賞、卒業時にアカンサス音楽賞・同声会賞受賞。現在は古典の研鑽とともに現代音楽にも活動の場を広げ、作曲家の公演や新作初演に多く携わる。生田流箏曲宮城社教師。

日本音楽の魅力発信プロジェクト ～和の文化活動を通じた若手育成～

日本音楽国際交流会による、伝統音楽に携わる若手演奏家や制作者を育成し、国内での継承を図るとともに、海外への魅力発信を進めるプロジェクト。2026年にはパリ(三曲)、東南アジア(雅楽)、アメリカ(邦楽アンサンブル)での海外公演を実施予定である。

いたくらやすあき
坂倉康明 ITAKURA Yasuaki (指揮)



東京藝術大学附属音楽高等学校を経て東京藝術大学音楽学部卒業。フランス政府給費留学生として渡仏し、パリ市立音楽院、パリ国立高等音楽院を卒業。故アンリエット・ピュイグ＝ロジェ氏から深い薫陶を受け、現在の多彩な演奏活動の礎を築いた。2001年より東京シンフォニエッタ音楽監督就任。第18回中島健蔵音楽賞を受賞。1997年度、1999年度、2015年度日本音楽コンクール委員会特別賞を受賞。国立音楽大学客員教授、ボルドー・ヌーヴェルアカテヌ高等音楽舞踊学院教授を歴任。

2025年(令和7年)12月26日[金]

18時半開演 [18時開場]

東京文化会館 小ホール

一般 4,000円 学生 2,000円

チケット発売 10月1日[水]

全席自由

● 東京文化会館チケットサービス
03-5685-0650 t-bunka.jp

● イープラス
http://eplus.jp



案内図

